

12 回生 千葉卓也さん (仙台在住)



「絆」を力に、想いを形に

被災地・仙台で

佐賀で培ったことを 「経営者」として活かす

宮城県で家業の食品メーカーの取締役を務めています。自社工場をもち、自社ブランドで冷凍カニ製品やカニの缶詰、そして地元食材の缶詰等を製造している会社です。経営者としては社長である父と分担し、私は主に商品の販売営業や、新商品開発を担当しています。販売営業は、既存の取引先との商談を担当することは勿論、商談会や展示会などの場に出展し、新規の取引先候補の企業を探したり、今まで販売していなかったような販売チャネルに販売したり、海外の取引先を開拓したりなども含まれます。従来のことを引き継ぐにせよ、自分が何か始めるにせよ、「新しい価値」を追求していく姿勢は弘学館で、特に高校時代の生徒会長を務めた経験を通して身につけました。

3.11 に思いを馳せて —「つながり」を考える

母校・弘学館で「絆の日」とされている3月11日…人と人との絆を考えるきっかけになればと思います、自社のカニ甲羅グラタンを、毎年在校生に食べてもらっています。東日本大震災では本社・工場や祖父を含む大切ないのちを失いましたが、そこで私が全てを諦めず立ち上がることができたのは、弘学館の人たちをはじめ、たくさんの仲間たちの激励があったからでした。震災の前には、こんなにも人の支えが有難く、力になるものだとは分かりませんでした。毎年在校生に向けて送るメッセージでは、必ず「絆」の大切さに触れつつ、1年で起こった出来事から学んだこと、気づいたことについて書くようにしています。皆さんに何を伝えようかと考えることは一年間、漫然と過ごすことなく、精神的に生きるための良いプレッシャーとなっています。

- 1995年 4月 弘学館中学校入学
- 2001年 3月 弘学館高等学校卒業
- 2001年 4月 東京大学文科二類入学
- 2005年 3月 東京大学経済学部卒業
- 2005年 4月 (株)三菱商事入社
- 2008年 10月 (株)マルヤ水産常務取締役
- 2016年 6月 宮城県食品輸出促進協議会幹事

(2018年4月現在)



宮城県知事から表彰される千葉さん

千葉卓也さんのとある一日

- 9:00 メールチェック (約100件)
- 10:00 デザイナーとの打ち合わせ
- 11:00 商談・ネット通販業務
- 13:00 栄養成分分析手配・法規制確認
- 15:00 資材会社との打ち合わせ
- 16:00 商談会に向けた準備
- 17:00 商談・ネット通販業務
- 19:00 キャンペーン対応打ち合わせ
- 20:00 ページラフ作成等

後輩へのメッセージ

何事もうまくいく方向に持っていくためには、常に色々な方向にアンテナを張り、貪欲に情報を吸収し学んでいくことが大切です。自分がやるべきこと、やりたいことが決まったら、自然と学びたいものだなと思います。また、人の縁は大切にしましょう。思いもかけぬ人との縁でチャンスが広がる場合があります。弘学館の仲間は卒業後も大切にしてほしいです。進路が多岐にわたるので様々な話が聞けて刺激を受けることができますし、絆を感じることで、精神的にもタフになれます。